



英知
誠実
健康

学校だより

若鷹

尾張旭市立旭中学校
令和元年度 5月号

令和の幕開け！

校長 松本 浩一

校庭の木々も新芽から若葉へ成長し、新緑の美しい季節になりました。生徒たちは、新たな気持ちで意欲をもって臨み、とても落ち着いた雰囲気で行われており、いいスタートが切れたと思います。

4月末からの10連休が終わり、各学年とも修学旅行、野外活動、校外学習と、1学期の大きな行事に向けて、仲間と協働して全力で取り組んでいます。

その10連休の間に、元号が「平成」から「令和」となり、時代の節目を迎えました。

「平成」から「令和」への転換期であった今年のゴールデンウィークは、平成を振り返る報道やテレビ番組が数多くありました。何気なく見ていると、改めて社会は日々刻々と変化し、その変化のスピードは加速度的に速くなっている事を思い知らされます。

「子どもたちが生きる未来は、一体どんな社会になっているのだろう」と考えても予測が付きません。どうやら子どもたちは、我々大人が生きてきた社会とは違う「予測不能な社会」を生きていかなければならない様です。



子どもたちが変化の激しい未来を豊かに幸せに生きるためには、主体的に判断し、様々な人と協働しながら課題を解決したり、新しい価値を創造したりする力が必要になってきます。

ほぼ10年に一度改定される学習指導要領も現在はその移行期間です。再来年、今の1年生が3年生になるときは、新学習指導要領が完全実施されます。

この新学習指導要領で示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善に取り組んでいます。特に、この4月から中学校では、「道徳」が「教科」になりました。小学校では一年早く昨年度から「特別の教科 道徳」が始まっています。これまでは副読本を使っていましたが、今年度からは検定を受けた教科書を使っての授業となります。そして、学年末に文章での評価をします。

しかし、時代や教育の内容がどのように変わろうとも、変わらないのは家庭や地域と力を合わせて子どもたちの未来を共に創っていくことだと思っています。